

# 多桑／父さん (1994)

多桑

A BORROWED LIFE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 台湾

色彩 Color

時間 144分

初公開日 1995/08/26

公開情報 松竹富士

## 【解説】

台湾ニューウェイブの一人に数えられる脚本家、呉念眞の第1回監督作品。1950年代末期、台湾北部の山間部にある金鉱で栄えた村、大山里。金鉱で働く連清科は、日本の統治下で日本人としての教育を受けた世代で、妻や幼い子供たちに日本語で“父さん”と呼ばせる程の日本びいきだった……。

映画はそんな父の姿を、幼少から成人するまでの息子の目を通し、彼の死に至るまでを追って描いてゆく。息子が見てきた“父の背中”を通し、人生、そして台湾にとっての日本を、様々な思索を織りまぜながら、深く鋭く描いた人生ドラマの秀作。美しい映像の中に満ちた乾いた様な哀しみ、そしてそこから人生に対する様々な思惑を浮かび上がらせている本作は、侯孝賢的作風というよりも、「青春神話」「愛情萬歳」の俊英、ツイ・ミンリャン監督に近い斬新な感覚を持っている。

## 【クレジット】

監督 ウー・ニエンツェン Wu Nien Jen

製作 ホウ・シャオシェン Hou Hsiao-Hsing

脚本 ウー・ニエンツェン Wu Nien Jen

撮影 リウ・チェンチュアン

音楽 ジアン・シアオウエン

リン・フォーリン

出演 ツアイ・チェンナン

ツアイ・チョウホン

フー・ウォー

チェン・クエイチョン

チュン・ヨハン